

様式集

(栗山町地域防災計画)

様式目次

別記第1号様式	気象通報受理簿（兼送信票）（第3章第6節第1関係）	174
別記第2号様式	避難者世帯名簿（第5章第4節第1関係）	175
別記第3号様式	救助種目別物資受払簿（第5章第4節第1他関係）	176
別記第4号様式	避難所設置及び収容状況（第5章第4節第1関係）	177
別記第5号様式	避難所収容台帳（第5章第4節第1関係）	178
別記第6号様式	被災者救出状況記録簿（第5章第5節第4関係）	179
別記第7号様式	輸送記録簿（第5章第8節第4関係）	180
別記第8号様式	炊き出し給与状況（第5章第9節第8関係）	181
別記第9号様式	飲料水の供給簿（第5章第10節第10関係）	182
別記第10号様式	世帯構成員別被害状況（第5章第12節第5関係）	183
別記第11号様式	物資購入（配分）計画表（第5章第12節第5関係）	184
別記第12号様式	物資の給与状況（第5章第12節第5関係）	185
別記第13号様式	物資給与及び受領簿（第5章第12節第5関係）	186
別記第14号様式	救護班活動状況（第5章第13節第7関係）	187
別記第15号様式	病院診療所医療実施状況（第5章第13節第7関係）	188
別記第16号様式	助産台帳（第5章第13節第7関係）	189
別記第17号様式	学用品の給与状況（第5章第17節第7関係）	190
別記第18号様式	応急仮設住宅台帳（第5章第18節第4関係）	191
別記第19号様式	住宅応急修理記録簿（第5章第18節第4関係）	192
別記第20号様式	遺体の搜索状況記録簿（第5章第20節第4関係）	193
別記第21号様式	遺体処理台帳（第5章第20節第4関係）	194
別記第22号様式	埋葬台帳（第5章第20節第4関係）	195
別記第23号様式	障害物除去の状況（第5章第21節第6関係）	196
別記第24号様式	賃金作業員雇用台帳（第5章第24節第3関係）	197
別記第25号様式	北海道消防防災ヘリコプター緊急運航伝達票 （第5章第25節第3関係）	198
別記第26号様式	北海道消防防災ヘリコプター緊急運航に係る災害等状況報告書 （第5章第25節第5関係）	199
別記第27号様式	救急患者の緊急搬送情報伝達票（第5章第25節第7関係）	200
	救急患者緊急搬送処理票（第5章第25節第7関係）	201
別記第28号様式	自衛隊災害派遣要請の依頼（第5章第26節第2関係）	202
別記第29号様式	自衛隊災害派遣撤収要請の依頼（第5章第26節第5関係）	203

気象通報受理簿(兼送信票)

年 月 日

課長	係長	係	送信	行		
			宛先	FAX番号		
予警報種別	警報	大雨・洪水・大雪・暴風・暴風雪			発令日時	
	注意報	大雨・洪水・大雪・()				
火災気象通報	予報期間	実効湿度	最小湿度	最大風速		
		%	%	m/s		
予警報区域	空知地方					
受信日時	月 日 時 間			受信方法	無線電話、無線FAX	
発信者	空知総合振興局地域政策課			受信者	(宿日直者)	

注1 火災気象通報の場合は、消防署にファクシミリで送信すること。

2 本書は、総務課に提出すること。

避難者世帯名簿

[避難所名

]

No. _____

現住所					現住所			
世帯主名					親族その他への連絡先 (氏名・住所・電話番号)			
電話番号								
入所世帯の状況	ふりがな 氏名	生年月日	続柄	性別	職業 (勤務先)	入所日時	退所日時	
		M. T. S. H 年 月 日	世帯主	男・女		月 日 時	月 日 時	
		M. T. S. H 年 月 日		男・女		月 日 時	月 日 時	
		M. T. S. H 年 月 日		男・女		月 日 時	月 日 時	
		M. T. S. H 年 月 日		男・女		月 日 時	月 日 時	
		M. T. S. H 年 月 日		男・女		月 日 時	月 日 時	
		M. T. S. H 年 月 日		男・女		月 日 時	月 日 時	
備考欄								

注1 一世帯ごとに記入すること。

2 「被災場所」欄には、現住所付近以外の場所で被災した場合に記入すること。

3 児童・生徒等については、「職業」欄に学校名・学年を記入すること。

4 「備考欄」には、次の事項について記入すること。

(1) 世帯内に病気療養中の者がいるときは、その者の病名及び症状等

(2) 退所する場合、その移動先が現住所以外のときは、その移動先の住所・氏名・電話番号

(3) その他特記事項

別記第3号様式(第5章第4節第1、同章第5節第4、同章第8節第4、同章第9節第8、同章第10節第10、同章第12節第5、同章第13節第8、同章第20節第4関係)

救助種目別物資受払簿

栗山町

救助種目別	
品名	

月日	摘要	受	払	残	備考
月日					
月日					
月日					
月日					
月日					
月日					
月日					
月日					
月日					
月日					
月日					
月日					
月日					
月日					
月日					
計					

- 注1 「救助種目別」欄には、①避難所用②炊き出しその他食品給与用③被災者救出用機械器具燃料用④被服寝具等⑤医療品衛生材料⑥燃料及び消耗品など用途別種目名を記入し、それぞれ別葉とすること。
- 2 品名ごとに、別葉とすること。
 - 3 「摘要」欄には、購入先、受入先又は払出先を記入すること。
 - 4 「備考」欄には、購入単価及び購入金額を記入すること。
 - 5 「備考」欄には、払高数量(使用数量)に対する金額を記入すること。
 - 6 北海道からの受入分及び町調達分別に受、払、残のそれぞれの数及び金額を記入すること。
 - 7 救護班による場合は、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。
 - 8 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

避難所設置及び収容状況

栗山町

避難所の名称	種 別	開設期間	実人員	延人員	物品使用状況		実支出額	備 考
					品 名	数量		
		月 日 ~ 月 日						
		月 日 ~ 月 日						
		月 日 ~ 月 日						
		月 日 ~ 月 日						
		月 日 ~ 月 日						
		月 日 ~ 月 日						
計	既存建物							
	野外仮設							
	天 幕							

- 注1 本様式は、別記第5号様式の集計用として作成すること。
- 2 「種別」欄は、既存建物、野外仮設の別に記入すること。
- 3 「物品使用状況」は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。
- 4 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。
- 5 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

避難所収容台帳

[避難所名]

開設月日	収容人員	事 項	物品使用状況		管理責任者名	備 考
			品 名	数量		

- 注1 開設避難所ごとに記入すること。
- 2 「収容人員」欄は、当日の最高収容人員を記入し、収容人員の増減経過は「事項」欄に記入すること。
- 3 「物品使用状況」は、開設月日ごとに使用した品名・数量を記入すること。
- 4 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

被災者救出状況記録簿

栗山町

年月日	救出人員	救出用機械器具							実支出額	備考
		名称	借上費		修繕費			燃料費		
			数量	所有者 (管理者)名	金額	修繕 月日	修繕費			
	人			円		円		円	円	
計										

- 注1 他市町村に及んだ場合には、「備考」欄にその市町村名を記入すること。
- 2 借上費については、有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合にのみ、その借上費を「金額」欄に記入すること。
- 3 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること。
- 4 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

輸 送 記 録 簿

栗山町

輸送月日	目的	輸送期間 (距離)	借上等		修繕					燃料費	実支出額	備考	
			使用車両		金額	使用車両		修繕月日	修繕費				故障の概要
			種類	台数		名称 番号	所有者 氏名						
					円					円	円		
計													

- 注1 「目的」欄は主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
- 2 市の車両等による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。
- 3 借上車両等による場合は、有償、無償を問わず記入すること。
- 4 借上等の「金額」欄には、運送費又は車両等の借上費を記入すること。
- 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。
- 6 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

炊き出し給与状況

栗山町

炊き出し場所の名称	月 日			月 日			月 日			月 日			合計	実支出額	備考
	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜			
	食	食	食	食	食	食	食	食	食	食	食	食	食分	円	
計															

注1 「備考」欄は、給食内容を記入すること。
 2 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

飲料水の供給簿

栗山町

供給月日	対象人員	給水用機械器具							実支出額	備考	
		名称	借上			修繕					燃料費
			数量	所有者	金額	修繕月日	修繕費	修繕の概要			
	人			円		円		円	円		
計											

- 注1 給水用機械器具は、借上費の有償、無償を問わず作成するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に額を記入すること。
 2 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること。
 3 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

別記第10号様式(第5章第12節第5関係)

世帯構成員別被害状況

年 月 日 時現在

栗山町

被害別	世帯構成員別	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯	7人世帯	8人世帯	9人世帯	10人世帯	計	小学生	中学生	高等学生
全壊(焼)															
流出															
半壊(焼)															
床上浸水															
合計															

物資購入(配分)計画表

[区分:全壊(焼)、流身世帯分、半壊(焼)及び床上浸水世帯分]

栗山町

世帯区分		1人世帯				2人世帯				3人世帯				4人世帯				5人世帯				人世帯				計				備考
		(基準額) 円				(基準額) 円				(基準額) 円				(基準額) 円				(基準額) 円												
品名	単価	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	

- 注1 本表は、全壊(焼)、流身世帯分と半壊(焼)及び床上浸水世帯分に分けて作成すること。「区分」欄の該当する方に○をする。
- 2 「(基準額)」欄は、細則別表第1、2の額を記入すること。
- 3 「品名」欄は、寝具、被服、その他生活必需品名を記入すること。
- 4 各品名ごとの「備考」欄に、北海道及び町調達分を明らかにしておくこと。

物資の給与状況

栗山町

住家被害 程度区分	世帯主氏名	基礎となつ た世帯構 成人員	給与 月日	物資給与の品名						実収支額	備考
				布団	毛布						
計	全壊	世帯									
	半壊	世帯									

災害救助物資として上記のとおり供与したことに相違ない。

年 月 日

給与責任者 氏名

印

- 注1 住家の被害程度に、全壊(焼)流失又は半壊(焼)床上浸水の別を記入すること。
- 2 「給与月日」欄は、その世帯に対して最後に給与された物資の受領月日を記入すること。
- 3 「物資給与の品名」欄は、数量を記入すること。
- 4 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

物資給与及び受領簿

住宅被害 程度区分	1 全壊(焼) 2 半壊(焼)	3 流失 4 床上浸水	給与の基礎となった 世帯構成員数	人
--------------	--------------------	----------------	---------------------	---

災害救助物資として、下記内訳のとおり受領しました。

年 月 日

世帯主 住所 _____

氏名 _____

連絡先 _____

給与年月日	品 名	数量	備 考
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			

注 被災者が記入する受領年月日は、その世帯に対し最後に給与された物資の受領年月日とする。

救護班活動状況

_____ 救護班

班長： 医師 氏名

印

月 日	市町村名	患者数 人	措置の概要	死体検案数 人	修繕費 円	備 考
計						

注 「備考」欄に班の編成、活動期間を記入すること。

病院診療所医療実施状況

栗山町

診療機関名	患者氏名	診療期間	病名	診療区分		診療報酬点数		金額	備考
				入院	通院	入院 点	通院 点		
								円	
計 機関	人					点	点	円	

注 「診療区分」欄は、該当欄に○印を記入すること。

助産台帳

栗山町

分べん者氏名	分べん日時	助産機関名	分べん機関	金額	備考
	月 日 時 分		~ 月 日 月 日	円	
	月 日 時 分		~ 月 日 月 日	円	
	月 日 時 分		~ 月 日 月 日	円	
	月 日 時 分		~ 月 日 月 日	円	
	月 日 時 分		~ 月 日 月 日	円	
	月 日 時 分		~ 月 日 月 日	円	
	月 日 時 分		~ 月 日 月 日	円	
	月 日 時 分		~ 月 日 月 日	円	
	月 日 時 分		~ 月 日 月 日	円	
	月 日 時 分		~ 月 日 月 日	円	
	月 日 時 分		~ 月 日 月 日	円	

学用品の給与状況

栗山町

学 校 名	学 年	児 童 生 徒 名	親 権 者 氏 名	給 与 月 日	給 与 品 の 給 与 状 況										実 支 出 額	備 考		
					教 科 書					そ の 他 学 用 品								
					国 語					鉛 筆	ノ ー ト							
																	円	
計	小学校 中学校		人 人														円 円	

学用品を上記のとおり給与しました。
年 月 日

給与責任者(学校長)
氏 名

印

- 注1 「給与月日」欄は、その児童(生徒)に対して最後に給与した給与月日を記入すること。
- 2 「給与品の内訳」欄には、数量を記入すること。
- 3 本様式は、救助法の適用時にはその事務に用いること。

応急仮設住宅台帳

栗山町

応急仮設住宅番号	世帯主氏名	家族数	所在地	構造区分	面積	敷地区分	着工区分	竣工月日	入居月日	実支出額	備考
		人								円	
計	世帯										

- 注1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置箇所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。
- 2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。
- 3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。
- 4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入すること。
- 5 「敷地区分」欄には、公・私有別とし、有・無償の別を明らかにすること。
- 6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。
- 7 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

住宅応急修理記録簿

栗山町

世帯主氏名	修理箇所概要	完了月日	実支出額	摘要

注 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

遺体の搜索状況記録簿

栗山町

年月日	搜索人員	搜索用機械器具							実支出額	備考
		名称	借上		修繕			燃料費		
			数量	所有者	金額	修繕月日	修繕費			
	人			円		円		円	円	
計										

- 注1 他市町村に及んだ場合には、「備考」欄にその市町村名を記入すること。
- 2 搜索用機械器具には、借上費の有償、無償を問わず作成するとし、有償による場合のみ「金額」欄に額を記入すること。
- 3 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること。
- 4 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

遺体処理台帳

栗山町

処 理 年 月 日	遺体発見 の日時及 び 場 所	死 亡 者 氏 名	遺 族		洗 浄 等 の 処 理			遺 体 の 一 時 保 存	検 索 料	実 支 出 額	備 考
			氏 名	死 亡 者 の 関 係	品 名	数 量	金 額				
							円		円	円	
計		人									

注 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

埋 葬 台 帳

栗山町

死 亡 者 年 月 日	埋 葬 年 月 日	死 亡 者		埋 葬 を 行 っ た 者		埋 葬 費				備 考
		氏 名	年 齢	氏 名	死亡者との関係	棺(付属品を含む)	埋葬又は火葬料 円	骨 箱 円	計 円	
計		人								

- 注1 埋葬を行った者が町長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
- 2 町長が、棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨を「備考」に明らかにすること。
- 3 埋葬を行った者が町長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
- 4 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

障 害 物 除 去 の 状 況

栗山町

住家被害 程度区分	氏 名	除去に要した 期 間	実支出額 円	除去に要すべき 状態の概要	備 考
計	半壊 半焼	世帯			
	床上 浸水	世帯			

- 注1 住家等の障害物を除去した場合に作成するものとし、「住家被害程度区分」欄には、半壊(焼)、床上浸水の区分を記入すること。
- 2 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

労務者雇用台帳

救助種別													
	住 所	氏 名	日 額	月 分					基本賃金		割増賃金		給与額
				日	日	日	日	日	日数	金額	時間	金額	
計	人	円											

- 注1 本台帳は、救助の種別ごとに作成すること。
 2 各日別就労状況は、1日就労したものは「1」と表示する。また、5時間の時間外就労は「1.5」と表示すること。

北海道消防防災ヘリコプター緊急運航伝達票

要請日時： 年 月 日 時

次のとおり、ヘリコプターの出動を要請します。

		要請機関名						
		担当者職氏名						
		連絡先						
災害の状況・派遣理由	覚 知	年 月 日 時 分						
	災害発生日時	年 月 日 時 分						
	災害発生場所							
	災 害 名							
	災害発生状況 措置状況							
派遣を必要とする区域				希望する活動内容				
気象の状況								
離着陸場の状況	離着陸場名							
	特記事項	(照明・Hマーク、吹き渡し、離着陸場の状況)						
必要とする資機材			現地での資機材確保状況					
			特記事項					
傷病者の搬送先			救急自動車等の手配状況					
他機関の応援状況	他に応援要請している機関名							
	現場付近で活動中の航空機の状況							
現地最高指揮者	(機関名)		(職氏名)					
無線連絡方法			(周波数)		Hz			
その他参考となる事項								
搭乗者	所属	職	氏 名	年齢	所属	職	氏 名	年齢

第 号
年 月 日

北海道消防防災ヘリコプター緊急運航に係る災害等状況報告書

総括責任者
北海道総務部長 様

栗山町長

北海道消防防災ヘリコプター緊急運航要領第8条の規定に基づき、次のとおり報告します。

災害発生日時	年 月 日 () 時 分							
災害発生場所								
派遣区域								
離着陸場								
使用した資機材								
傷病者の搬送先								
消防防災ヘリコプターに係る活動内容等	[地元の活動状況（消防防災ヘリコプター運航に係る分）]							
	[消防防災ヘリコプターによる活動内容]							
災害発生状況 措置状況								
その他参考となる事項								
搭乗者	所 属	職	氏 名	年齢	所 属	職	氏 名	年齢

救急患者の緊急搬送情報伝達票

(第 報)

要請年月日	年	月	日	時	分
1 要請市町村名	電話			FAX	
担当者	課名	職名		氏名	
2 依頼病院名	電話				
所在地					
担当者(医師名)		医師		氏名	
3 受入れ医療機関名					
所在地					
電話			FAX		
受入れ医療機関の了承		有 ・ 無			
4 患者氏名	ふりがな	生年月日	年	月	日生
			歳	男	・ 女
		体重	kg	職業	
住 所	ふりがな				
病 名	ふりがな				
現 状					
経 過					
5 付添搭乗者 (医師、看護婦の所属 : 依頼病院 ・ 受入れ医療機関)					
氏名	医 師	年齢		歳	体重 kg
	看 護 婦	年齢		歳	体重 kg
	付 添 人	続柄		年齢	歳 体重 kg
6 運航上必要事項					
(1) 患者に装備されている医療機器の状況					
① 点滴 (規格 × 、 重量 g)					
② 保育器 (規格 H × W × L 、 重量 g)					
③ 酸素吸入器 (規格 × 、 重量 g)					
④ その他 (名称 、 規格 × 、 重量 g)					
(2) 積載されている機器の種類、重量、規格					
① 依頼病院		kg	kg	kg	
② 受入れ医療機関		kg	kg	kg	
現地離着陸場	メモ				

注 市町村は、No.1～No.6の項目を記載のうえ要請すること。

第 号
年 月 日

空知総合振興局長 様

栗山町長

自衛隊災害派遣要請の依頼について

このことについて、次のとおり緊急措置が必要なので、自衛隊の災害派遣の要請を要求します。

記

- 1 災害の状況及び派遣を要請する事由
- 2 派遣を希望する期間
- 3 派遣を希望する区域及び活動内容
- 4 派遣部隊との連絡方法、その他参考となる事項

別記第29号様式(第5章第26節第5関係)

第 号
年 月 日

空知総合振興局長 様

栗山町長

自衛隊災害派遣撤収要請の依頼について

年 月 日付第 号で依頼した災害派遣については、所期の目的を達成したので、次の日時をもって撤収要請されるよう要求します。

記

1 派遣を必要とした理由

2 撤収日時

年 月 日 時 分